

緊急赤潮情報R4-3

令和4年6月8日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

杵築市守江湾で有害赤潮プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが警戒密度を超えて確認されています。

以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

| | |
|--|---|
| 本種の注意密度は、5,000細胞/ml、 警戒密度は、50,000細胞/mlです。 | |
| (ヘテロシグマ・アカシオの留意点) | |
| ① | このプランクトンは、上下移動を繰り返し、日中は表層に夜間は底層に滞留します。水色や漁模様の急変など、海域監視の強化に努めて下さい。 |
| ② | 特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。 |
| ③ | 赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。 |

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

| 調査月日 | 調査場所 | 調査時間 | 採水層 (m) | 水温 (°C) | 塩分 (PSU) | ヘテロシグマ・アカシオ (細胞/ml) |
|------|------|-------|---------|---------|----------|---------------------|
| 6月8日 | ①美濃崎 | 12:30 | 0 | 21.1 | - | 0 |
| 6月8日 | ②住吉浜 | 12:15 | 0 | 23.9 | - | 0 |
| 6月8日 | ③灘手 | 12:00 | 0 | 21.5 | - | 5,800 |
| | | | 1 | 21.3 | - | 92,000 |

採水・検鏡:大分県東部振興局農山漁村振興部水産班



海洋状況表示システムを加工して作成